

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月21日(金)

事務事業		後期高齢者医療事務		担当課	保険年金課	担当係	高齢者医療係	管理番号	17411	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分 根拠法令 個別計画等	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 ・高齢者の医療の確保に関する法律					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり							
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		75歳以上の後期高齢者と、前期高齢者（65～74歳）で障害のある者を対象とする医療保険制度を運営するために、保険料の徴収、各種申請等の受付を行う。また、被保険者の健康増進を図り、医療費の軽減に寄与するため、保健事業を行う。								
目的 ※何のために		高齢者医療を安定的に支えるとともに、高齢者に対する医療・介護サービスの質を維持、向上するため								
対象 ※誰・何を対象に		75歳以上の後期高齢者と、前期高齢者（65～74歳）で障害のある者								
手段 ※どのように		・保険料の徴収を行う。 ・各種申請の手続きを行う。 ・保健事業を実施する。								
成果 ※何を求めるか		対象者から誤りなく、保険料を徴収し、各種の申請等の手続きを円滑に行う。また、より多くの被保険者に健診の受診や人間ドックの受検をしてもらう。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		特別会計	1	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	後期高齢者健診事業	45,264,115
		特別会計	1	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	後期高齢者人間ドック助成事業	17,617,110
		特別会計	1	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	一般事務経費	9,270,740
		特別会計	1	総務費	2	徴収費	1	徴収費	徴収経費	20,102,508
		特別会計	2	後期高齢者医療広域連合納付金	1	後期高齢者医療広域連合納付金	1	後期高齢者医療広域連合納付金	後期高齢者医療広域連合納付金	3,288,406,688
本事業の 主な業務		・後期高齢者医療制度に係る各種申請等の手続き ・後期高齢者健診業務の委託 ・後期高齢者医療保険料の徴収 ・後期高齢者医療人間ドック・脳ドックの受検費用の助成 ・後期高齢者医療被保険者の資格管理 ・								

2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画								
事業費	予算(現額)	3,265,188,000	3,509,716,000	5,874,529,000	6,094,976,000			
	決算額	3,182,113,218	3,386,592,361	0	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	307,683,000	306,444,000		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	1,924,804,203	1,953,119,409	2,287,699,000	2,320,067,000		
一般財源		1,257,309,015	1,433,472,952	3,279,147,000	3,468,465,000			
人件費	従事職員数(人)	4.15	5.10	5.00	5.00			
	人件費相当試算※	32,658,662.00	40,851,842.00	41,804,500.00	41,804,500.00			
総事業費試算		3,214,771,880	3,427,444,203	5,916,333,500	6,136,780,500			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	保険料の徴収件数	目標値	千件						
		実績値		130.35	135.71				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可/年度集計資料より						
実績値の算出式		130.352件 135.708件							
活動指標 2	各種申請等の受付件数	目標値	件						
		実績値		6,501.00	6,993.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可 / 窓口受付状況一覧より						
実績値の算出式									
成果指標 1	誤りによる苦情件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		0件を目標とする / 苦情として処理した件数						
実績値の算出式									
成果指標 2	健康診査受診数	目標値	人	3,237.00	3,687.00	4,254.00			
		実績値		3,352.00	3,868.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度の受診者実績+10% (H24年度より採用)						
実績値の算出式									
活動指標 3	後期高齢者一人あたりの経費	目標値	千円						
		実績値		151.62	154.30				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可 / 総事業費÷被保険者数						
実績値の算出式		21,203人 22,213人							
成果指標 3	後期高齢者人間ドック・脳ドック受検者数	目標値	人	660.00	606.00	666.00			
		実績値		551.00	606.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度の受診者実績+10% (健診と同じ) ※R4は助成額の拡充に伴い増を見込む。						
実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA~Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	被保険者の増加により、業務量が大幅に増加している。保険料の徴収件数については、コンビニ収納・スマートフォン決済の導入により、納付機会の拡大を図ることができた。依然として、各種申請件数等の受付件数などの定常事務量が大幅に増加しているため、より一層効率的・効果的な運営を行う必要がある。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	定常事務量が大幅に増加している中、誤りなく対応することができた。また、健康診査、人間ドックともに目標値を達成し、より多くの被保険者の健康状態を把握することができた。
			評価者 高齢者医療係長 新井 慧

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	埼玉県後期高齢者医療広域連合からの提供データの多くがPDFのため、データ化が困難であったが、AI-OCRを活用することで、一部業務をデータ化し、効率化する事ができた。
			評価者 高齢者医療係長 新井 慧

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	埼玉県後期高齢者医療広域連合の標準システムと深谷市の総合行政システムの間での連携についてさらなるICT化を推進する。
達成状況及び その効果	埼玉県後期高齢者医療広域連合からの提供されるデータをAI-OCRを活用してデータ化し、総合行政システムから抽出したデータと組み合わせることにより、業務を効率化できた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	後期高齢者医療事務	担当課	保険年金課	担当係	高齢者医療係	管理番号	17411
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価の内容説明 被保険者数の大幅な増加に伴う定常業務量の増加する中苦情につながる誤りはなかった。今後、さらなる業務量の増加や被保険者証の廃止が予定されているが、引き続き適正な処理を行っていく。			
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者		保険年金課長 吉岡 紀久江			

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	被保険者証の廃止に係る業務および関連業務の適正化・効率化を図る。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	総合行政システムの標準化への対応およびそれに伴う業務の見直しを行う。

8. 評価指標グラフ

